

令和3年度 厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
職域がん検診における精度管理指標の測定・基準値設定と新指標測定法の開発・実  
用化に関する

研究分担研究報告書

職域がん検診の実態把握と精度管理指標実測値

研究分担者：立道昌幸 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 教授  
研究分担者：深井航太 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 講師  
研究分担者：伊藤正人 パナソニック健保組合 産業保健センター長  
研究協力者：古屋佑子 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 助教  
研究協力者：渡辺祐哉 日立健康管理センタ 医師  
研究協力者：中川徹 日立健康管理センタ 医師  
研究協力者：佐々木敏雄 バイオコミュニケーションズ株式会社

**研究要旨：**本研究では実際に産業医主体で実施されている職域でのがん検診のプロセス指標に基づく精度管理に関する実測値を集計した。要精検後の集計は、紹介状の発行、産業保健職による電話、その返信等による追跡が主体となっていた。精検結果については、健診の基幹システムに格納する方法をとられていた。これらの企業でのがん検診は、画像については前年度との比較読影を基本としており、要精検率が低かった。一方で大腸がん検診の便潜血の要精検率はほぼ同等であった。がん発見率については、暫定の許容値・基準値と比較して全体的に低い傾向が認められた。基準値より低くなる原因としては、がん発見まで完全に追跡できていないことが考えられた。職域での精度管理指標値について、中小企業と大企業では罹患率が異なる場合には、がん発見率や陽性的中率等の精度管理指標に影響がでることから、一括りに職域としてその基準値が利用できるが問題となる。そこで、当研究分担者の小川俊夫教授が開発されたレセプトによるがん特定プログラムにより在職者のがん罹患率/年を集計し、協会健保の罹患率と比較検討を行った。その結果、両者に特に差は認めなかったことから職域全体に適応可能と考えられた。

ただし精度管理指標値の利用については、企業毎では、母数が少なくばらつきが生じるため、企業単位でのプロセス指標に基づく精度管理は困難であると思われた。

**A. 研究目的**

「職域におけるがん検診に関するマニュアル」（厚労省、平成30年3月）が出されたが、職域でのがん検診についてのプロセス指標に基づく精度管理指標値は示されておらず、本研究班で提示する責務を負っている。

分担研究として、実際に産業医主導でプロセス指標に基づく精度管理を実施している企業の実測値を示すことを目的とした。

**B. 研究方法**

1) 精度管理指標値の算出

詳細の方法は、令和元年度の当研究班の報

告書（祖父江研究代表者）を参照。職域におけるがん検診の精度管理に関する実態を把握するため、2019年度後半に、がん検診受診者の性・年齢・初回非初回別分布、要精検率の集計値を収集する調査を実施した。今回は、さらに精検受診者数、がん発見数まで追って集計し、要精検受診率、がん発見率、陽性反応的中率について職域での実測値を算出した。某会社については、全てのがん検診データと精検データ、レセプトデータについて個人特定される被保険者番号、生年月日をハッシュ化して匿名化した後に解析した。また、職域では様々ながん検診が実施されているが、項目は、職域に

おけるがん検診に関するマニュアルに則り胃がんについては、バリウム検査（胃内視鏡検査については、今回対象外とした）、大腸がんについては、便潜血(1回法も含む)、肺がんは、胸部レントゲン（喀痰細胞診は行われていない）、子宮頸がんは、医師による細胞診、乳がんについては、マンモグラフィとしたが、参考値として超音波検診を実施している企業があったのであわせて集計した。

対象年齢の範囲は、胃がん 40-49 歳 /50-65 歳、大腸がん、肺がん、乳がんは 40-65 歳、子宮頸がんは 20-65 歳とした。一部、65 才以上が含まれる企業においては、表示は 74 才としているが、65 才以上は少数であり、調査対象は社員のみとした。

## 2) 企業でのがん罹患数の特定

某企業において、同研究班の分担研究者である、小川俊夫教授が開発されたレセプトを用いてのがん特定プログラムを行い、がん罹患率/年を算出した。

## C: 結果

A, B, C の 3 社よりがん発見数についてのデータ提供を 2015-2017 年の年度毎、C 社より 2011-2019 年度までの精度管理指標について、受診者数、要精検者数、要精検率、がん発見数、がん発見率、陽性反応的中度を算出した。その結果を表 1、2、3、4、5 に示す。

胃がんについては、B 社は胃内視鏡が主体であったので今回は除外した。要精検率は、C 社では低く、さらに A 社では低い、これは前年度画像との比較読影を行っているからであり、陽性反応的中率も高かった。今回 40-49 歳での胃がん検診も集計したが、男性では、がん発見率は 0.02%程度発見されている。一方で 50 歳以上では、職域の暫定値指標 0.04%に比して 0.2-0.5 程度であった。

大腸がん検診については、1 回法と 2 回法で要精検率は異なるが、3-6%と自治体レベルと比べると同程度か低い程度であった。一方で、がん発見率は、最高でも 0.3%の年度があったが、他の多くは、0.03%未満であり、暫定値である非初回の 0.08%比して 0.2-0.5 程度であった。

肺がん検診については、要精検率は、B 社では低く、さらに C 社では低い、これも比較読影していることが主因と考えられる。がん発見率については、目標値の 0.04%以下に比して 0.1-0.2 程度であった。

子宮頸がん検診については、2 社でばらついており、要精検率が 1-2%である場合と、2-9%であった。がん発見率は、母数が少ないため参考値程度であるが、0.5%の年度から 0.1%の年度、多くは 0%と幅が広く評価は困難であった。

乳がんについては、マンモグラフィは 1 社のみ追跡可能であり、要精検率は、10-14%と高かった。絶対数が少ないことから参考値として考える。

また、1 社は、超音波検診のみとしていたが、参考値として、要精検率は低く、がん発見率は、暫定値の 0.25%に比べると 1.1-3.0 と高かった。超音波検診では、高い陽性反応的中率を示した。

## 2) がん罹患率の比較

6 年間のレセプトによってがん罹患が特定されたがん罹患率/年は、胃がんで 40-65 才にて男性 0.03%、女性で 0.01%  
大腸がんで、0.06%、0.04%、肺がんで 0.02%、0.01%であった。

## D. 考察と結論

大企業での検診の精度管理指標の収集では、今回は、初回、非初回の区別はできないものの、産業医がフォローしている企業においては、検診受診率は高く、ほとんどが非初回として考えることができる。精検受診

率の把握は企業毎、あるいは年度毎でばらつきがある、これは、母数が少ないことにより、企業単位での精度管理指標の評価が難しいことを意味する。

今回解析した3社ともがん発見率は、暫定的な許容値・基準に比較してがん発見率で乳がん以外は、50%以下の低い傾向であった。この傾向は、全てのがんを追跡できていないことで低く見積もられている可能性が考えられる。

一方で、今回調査した企業はいずれも大企業であり同一施設で比較読影などにより、要精検率は低くなっている点、また、大企業の従業員では、喫煙率が低く、ピロリ除菌も進んでおり、Healthy Worker Effectが存在するのか？職域での精度管理指標値を実装する場合には、組合健保と協会健保での罹患率の比較検討が必要と考えた。そこで、レセプトでのがん特定による罹患率を検討した結果、大企業健保での胃がんで、0.03-0.01%、大腸がんで、0.06%-0.04%、肺がんで、0.02%-0.01%であり、協会健保でのレセプトで特定されている推測胃がんは、0.035%前後、大腸がん 0.05%前後、肺がん0.02%前後とほぼ同等の罹患率であり、今回の検討からは大企業—中小企業間でのがん罹患の差は認められなかった。

がん検診の精度管理を単一企業単位で行うのは、母数の少なくばらつきが大きいことから実際は困難であり、実現可能性としては、健保組合にてレセプトによるがん特定など健保単位で実施するのが、現実的であると考えられた。

## E. 政策提言および実務活動

本年度はない。

## F. 研究発表（本研究に関わるもの）

### 1. 学会発表

なし

### 2. その他

Watanabe Y, Nakagawa T, Fukai K, Honda T, Furuya H, Hayashi T, Tatemichi M.

Descriptive study of chest x-ray examination in mandatory annual health examinations at the workplace in Japan. PLoS One. 2022 Jan 12;17(1):e0262404.

## H. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

表1 胃がん バリウム検診

A企業												
年度	性別	年齢	受診者	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	陽性反応的中率	がん発見率の暫定値との比	
2015	男性	40-49	5167	11	0.21%	9	81.8%	0	0.000%	0.00%	0.0	
		50-74	6563	62	0.94%	54	87.1%	5	0.076%	8.06%	1.5	
		40-74	11730	73	0.62%	63	86.3%	5	0.043%	6.85%	0.9	
	女性	40-49	614	1	0.16%	1	100.0%	0	0.000%	0.00%	0.0	
		50-74	1235	12	0.97%	10	83.3%	1	0.081%	8.33%	1.6	
		40-74	1849	13	0.70%	11	84.6%	1	0.054%	7.69%	1.1	
2016	男性	40-49	5021	21	0.42%	16	76.2%	1	0.020%	4.76%	0.4	
		50-74	6483	98	1.51%	86	87.8%	7	0.108%	7.14%	2.2	
		40-74	11504	119	1.03%	102	85.7%	8	0.070%	6.72%	1.4	
	女性	40-49	613	1	0.16%	1	100.0%	0	0.000%	0.00%	0.0	
		50-74	1163	12	1.03%	8	66.7%	0	0.000%	0.00%	0.0	
		40-74	1776	13	0.73%	9	69.2%	0	0.000%	0.00%	0.0	
2017	男性	40-49	4946	20	0.40%	17	85.0%	1	0.020%	5.00%	0.4	
		50-74	7098	55	0.77%	45	81.8%	5	0.070%	9.09%	1.4	
		40-74	12044	75	0.62%	62	82.7%	6	0.050%	8.00%	1.0	
	女性	40-49	696	1	0.14%	1	100.0%	0	0.000%	0.00%	0.0	
		50-74	1298	10	0.77%	6	60.0%	0	0.000%	0.00%	0.0	
		40-74	1994	11	0.55%	7	63.6%	0	0.000%	0.00%	0.0	

## C 企業

年度	年齢	受診者	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	陽性反応的中率	がん発見率の暫定値との比	
2011	男性	40-49	36639	849	2.3%	693	81.6%	7	0.019%	0.82%	0.4
2012			38460	839	2.2%	621	74.0%	1	0.003%	0.12%	0.1
2013			37638	738	2.0%	503	68.2%	5	0.013%	0.68%	0.3
2014			37314	787	2.1%	544	69.1%	4	0.011%	0.51%	0.2
2015			34829	601	1.7%	466	77.5%	1	0.003%	0.17%	0.1
2016			32359	623	1.9%	486	78.0%	1	0.003%	0.16%	0.1
2017			29272	435	1.5%	331	76.1%	1	0.003%	0.23%	0.1
2018			27477	422	1.5%	411	97.4%	3	0.011%	0.71%	0.2
2019			24257	311	1.3%	348	-	2	0.008%	0.64%	0.2
年齢の区切りの問題											
2011	女性	40-49	9389	183	1.9%	142	77.6%	0	0.000%	0.00%	0.0
2012			10157	174	1.7%	121	69.5%	0	0.000%	0.00%	0.0
2013			10300	173	1.7%	113	65.3%	0	0.000%	0.00%	0.0
2014			10679	197	1.8%	132	67.0%	1	0.009%	0.51%	0.5
2015			10522	166	1.6%	110	66.3%	2	0.019%	1.20%	1.0
2016			10137	173	1.7%	116	67.1%	0	0.000%	0.00%	0.0
2017			9852	177	1.8%	129	72.9%	1	0.010%	0.56%	0.5
2018			9644	161	1.7%	105	65.2%	1	0.010%	0.62%	0.5
2019			8425	141	1.7%	97	68.8%	1	0.012%	0.71%	0.6
2011	男性	50-65	14952	568	3.8%	416	73.2%	4	0.027%	0.70%	0.5
2012			17776	555	3.1%	409	73.7%	4	0.023%	0.72%	0.5
2013			20579	646	3.1%	435	67.3%	2	0.010%	0.31%	0.2
2014			24032	848	3.5%	568	67.0%	2	0.008%	0.24%	0.2
2015			26845	764	2.8%	555	72.6%	4	0.015%	0.52%	0.3
2016			29198	943	3.2%	714	75.7%	9	0.031%	0.95%	0.6
2017			31718	866	2.7%	627	72.4%	5	0.016%	0.58%	0.3
2018			35099	813	2.3%	696	85.6%	7	0.020%	0.86%	0.4
2019			35337	694	2.0%	450	64.8%	4	0.011%	0.58%	0.2
2011	女性	50-65	2259	58	2.6%	44	75.9%	1	0.044%	1.72%	2.2
2012			2574	52	2.0%	41	78.8%	2	0.078%	3.85%	3.9
2013			3156	69	2.2%	40	58.0%	0	0.000%	0.00%	0.0
2014			3730	79	2.1%	37	46.8%	0	0.000%	0.00%	0.0
2015			4443	95	2.1%	56	58.9%	0	0.000%	0.00%	0.0
2016			4935	103	2.1%	67	65.0%	0	0.000%	0.00%	0.0
2017			5470	108	2.0%	65	60.2%	0	0.000%	0.00%	0.0
2018			6325	136	2.2%	98	72.1%	0	0.000%	0.00%	0.0
2019			6476	109	1.7%	56	51.4%	0	0.000%	0.00%	0.0
2011	男性	40-65	51591	1417	2.7%	1109	78.3%	11	0.021%	0.78%	0.4
2012			56236	1394	2.5%	1030	73.9%	5	0.009%	0.36%	0.2
2013			58217	1384	2.4%	938	67.8%	7	0.012%	0.51%	0.2
2014			61346	1635	2.7%	1112	68.0%	6	0.010%	0.37%	0.2
2015			61674	1365	2.2%	1021	74.8%	5	0.008%	0.37%	0.2
2016			61557	1566	2.5%	1200	76.6%	10	0.016%	0.64%	0.3
2017			60990	1301	2.1%	958	73.6%	6	0.010%	0.46%	0.2
2018			62576	1235	2.0%	1107	89.6%	10	0.016%	0.81%	0.3
2019			59594	1005	1.7%	798	79.4%	6	0.010%	0.60%	0.2
2011	女性	40-65	11648	241	2.1%	186	77.2%	1	0.009%	0.41%	0.4
2012			12731	226	1.8%	162	71.7%	2	0.016%	0.88%	0.8
2013			13456	242	1.8%	153	63.2%	0	0.000%	0.00%	0.0
2014			14409	276	1.9%	169	61.2%	1	0.007%	0.36%	0.3
2015			14965	261	1.7%	166	63.6%	2	0.013%	0.77%	0.7
2016			15072	276	1.8%	183	66.3%	0	0.000%	0.00%	0.0
2017			15322	285	1.9%	194	68.1%	1	0.007%	0.35%	0.3
2018			15969	297	1.9%	203	68.4%	1	0.006%	0.34%	0.3
2019			14901	250	1.7%	153	61.2%	1	0.007%	0.40%	0.3
暫定基準値							男性	0.05%	以上		
							女性	0.02%	以上		

A会社		便潜血2日法									
年度	性別	年齢	受診者	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	陽性反応的中率	がん発見率の暫定値との比
2015	男性	40-74	12079	431	3.57%	290	67.3%	3	0.025%	0.70%	0.2
	女性	40-74	1854	68	3.67%	48	70.6%	1	0.054%	1.47%	0.9
2016	男性	40-74	11919	381	3.20%	273	71.7%	9	0.076%	2.36%	0.8
	女性	40-74	1809	51	2.82%	36	70.6%	0	0.000%	0.00%	0.0
2017	男性	40-74	11768	305	2.59%	198	64.9%	7	0.059%	2.30%	0.6
	女性	40-74	1889	51	2.70%	36	70.6%	0	0.000%	0.00%	0.0

B会社		便潜血2日法									
年度	性別	年齢	受診者	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	陽性反応的中率	がん発見率の暫定値との比
2015	男性	40-74	3809	214	5.6%	92	43.0%	3	0.079%	1.4%	0.8
	女性	40-74	370	25	6.8%	11	44.0%	1	0.270%	4.0%	0.0
2016	男性	40-74	4794	229	4.8%	117	51.1%	2	0.042%	0.9%	0.4
	女性	40-74	404	18	4.5%	7	38.9%	1	0.248%	5.6%	4.1
2017	男性	40-74	4188	192	4.6%	114	59.4%	0	0.000%	0.0%	0.0
	女性	40-74	442	28	6.3%	16	57.1%	0	0.000%	0.0%	0.0

C社		便潜血1日法									
年度	性別	年齢	受診者	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	陽性反応的中率	がん発見率の暫定値との比
2011	女性	40-65	53226	1739	3.3%	1476	84.9%	29	0.054%	1.67%	0.5
2012		40-65	58120	1837	3.2%	1412	76.9%	17	0.029%	0.93%	0.3
2013		40-65	60794	2048	3.4%	1466	71.6%	17	0.028%	0.83%	0.3
2014		40-65	64122	2152	3.4%	1537	71.4%	10	0.016%	0.46%	0.2
2015		40-65	64918	2301	3.5%	1852	80.5%	20	0.031%	0.87%	0.3
2016		40-65	66554	2157	3.2%	1554	72.0%	16	0.024%	0.74%	0.2
2017		40-65	66604	2209	3.3%	1545	69.9%	19	0.029%	0.86%	0.3
2018		40-65	68238	2260	3.3%	1572	69.6%	29	0.042%	1.28%	0.4
2019		40-65	65571	2234	3.4%	1342	60.1%	18	0.027%	0.81%	0.3
2011		40-65	11930	362	3.0%	284	78.5%	4	0.0000%	1.10%	0.0
2012		40-65	13311	377	2.8%	287	76.1%	2	0.0301%	0.53%	0.5
2013		40-65	14238	433	3.0%	287	66.3%	3	0.0140%	0.69%	0.2
2014		40-65	15508	531	3.4%	328	61.8%	3	0.0193%	0.56%	0.3
2015		40-65	16554	561	3.4%	364	64.9%	1	0.0181%	0.18%	0.3
2016		40-65	17841	562	3.2%	342	60.9%	3	0.0056%	0.53%	0.1
2017		40-65	18859	574	3.0%	345	60.1%	2	0.0159%	0.35%	0.3
2018		40-65	19984	618	3.1%	353	57.1%	3	0.0100%	0.49%	0.2
2019		40-65	19213	616	3.2%	290	47.1%	1	0.0156%	0.16%	0.3

暫定基準値  
 男性 0.10%以上  
 女性 0.06%以上

表3. 肺がん

A社 胸部レントゲン											
年度	性別	年齢	受診者	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	陽性反応的中率	がん発見率の暫定値との比
2015	男性	40-74	4438	80	1.8%	58	72.5%	2	0.05%	2.5%	1.13
	女性	40-74	677	11	1.6%	9	81.8%	0	0.00%	0.0%	0.00
2016	男性	40-74	4351	45	1.0%	28	62.2%	2	0.05%	4.4%	1.15
	女性	40-74	677	2	0.3%	2	100.0%	0	0.00%	0.0%	0.00
2017	男性	40-74	4255	42	1.0%	27	64.3%	0	0.00%	0.0%	0.00
	女性	40-74	674	7	1.0%	7	100.0%	0	0.00%	0.0%	0.00
C社											
2011	男性	40-65	56034	820	1.5%	367	44.8%	2	0.004%	0.24%	0.09
2012		40-65	61138	493	0.8%	460	93.3%	2	0.003%	0.41%	0.08
2013		40-65	63410	511	0.8%	446	87.3%	3	0.003%	0.59%	0.08
2014		40-65	66477	494	0.7%	448	90.7%	7	0.005%	1.42%	0.11
2015		40-65	67241	519	0.8%	448	86.3%	5	0.010%	0.96%	0.26
2016		40-65	67596	686	1.0%	668	97.4%	6	0.007%	0.87%	0.18
2017		40-65	67852	539	0.8%	456	84.6%	5	0.009%	0.93%	0.22
2018		40-65	70746	511	0.7%	447	87.5%	6	0.007%	1.17%	0.18
2019		40-65	67902	512	0.8%	418	81.6%	7	0.009%	1.37%	0.22
2011		女性	40-65	13599	123	0.9%	86	69.9%	0	0.000%	0.00%
2012	40-65		15006	105	0.7%	95	90.5%	0	0.000%	0.00%	0.00
2013	40-65		16049	126	0.8%	104	82.5%	0	0.000%	0.00%	0.00
2014	40-65		17542	127	0.7%	108	85.0%	0	0.000%	0.00%	0.00
2015	40-65		18508	135	0.7%	111	82.2%	2	0.011%	1.48%	0.01
2016	40-65		19283	166	0.9%	150	90.4%	1	0.005%	0.60%	0.00
2017	40-65		20430	176	0.9%	131	74.4%	1	0.005%	0.57%	0.00
2018	40-65		22239	213	1.0%	182	85.4%	1	0.004%	0.47%	0.00
2019	40-65		21332	170	0.8%	134	78.8%	0	0.000%	0.00%	0.00
暫定基準値								男性	0.04%以上		
								女性	0.02%以上		

表4. 子宮頸がん

A社 医師による細胞診											
年度	性別	年齢	受診者	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	陽性反応的中率	がん発見率の暫定値との比
2015	女性	20-74	783	9	1.15%	8	88.9%	1	0.128%	11.11%	0.4
		20-39	116	2	1.72%	2	100.0%	0	0.000%	0.00%	0.0
		40-74	667	7	1.05%	6	85.7%	1	0.150%	14.29%	5.0
2016	女性	20-74	857	8	0.93%	6	75.0%	0	0.000%	0.00%	0.0
		20-39	116	1	0.86%	1	100.0%	0	0.000%	0.00%	0.0
		40-74	741	7	0.94%	5	71.4%	0	0.000%	0.00%	0.0
3017	女性	20-74	972	19	1.95%	14	73.7%	0	0.000%	0.00%	0.0
		20-39	152	0	0.00%	0	-	0	0.000%	-	0.0
		40-74	820	19	2.32%	14	73.7%	0	0.000%	0.00%	0.0
B社											
2015	女性	20-74	408	23	5.6%	18	78.3%	0	0.00%	0.0%	0.0
		20-39	49	2	4.1%	2	100.0%	0	0.00%	0.0%	0.0
		40-74	359	21	5.8%	16	76.2%	0	0.00%	0.0%	0.0
2016	女性	20-74	415	22	5.3%	14	63.6%	0	0.00%	0.0%	0.0
		20-39	53	1	1.9%	1	100.0%	0	0.00%	0.0%	0.0
		40-74	362	21	5.8%	13	61.9%	0	0.00%	0.0%	0.0
2017	女性	20-74	410	35	8.5%	26	74.3%	2	0.49%	5.7%	1.6
		20-39	60	2	3.3%	2	100.0%	0	0.00%	0.0%	0.0
		40-74	350	33	9.4%	24	72.7%	2	0.57%	6.1%	19.0

暫定基準値

20-74 0.03%以上

20-39 0.02%以上

40-74 0.03%以上

表5. 乳がん

B社 マンモグラフィ											
年度	性別	年齢	受診者	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	陽性反応的中率	がん発見率の暫定値との比
2015	女性	40-74	231	33	14.3%	22	66.7%	0	0.00%	0.0%	0.0
2016		40-74	263	29	11.0%	24	82.8%	2	0.76%	6.9%	3.0
2017		40-74	250	25	10.0%	18	72.0%	0	0.00%	0.0%	0.0

A社 (参考値) 超音波

年度	性別	年齢	受診者	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	陽性反応的中率	がん発見率の暫定値との比
2015	女性	40-74	1002	7	0.7%	7	100.0%	2	0.20%	28.6%	0.8
2016		40-74	1137	9	0.8%	8	88.9%	4	0.35%	44.4%	1.4
2017		40-74	1259	11	0.9%	11	100.0%	6	0.48%	54.5%	1.9

暫定基準値

0.25%以下